# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

JA 0093946 APR 1991

(54) SYSTEM PARTITION

(11) 3-93946 (A) (43) 18.4.1991 (19) JP

(21) Appl. No. 64-230188 (22) 5.9.1989

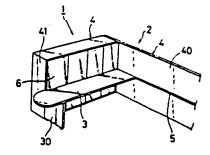
(71) YAMAHA CORP (72) MINORU MITSUOKA

(51) Int. Cl3. E04B2 74.A47B5/06,A47B83/04

PURPOSE: To effectively use a space by providing a partition table movable along a partition wall, to wall partition elements so as to be displaceable to and from the latter, and by providing a foldable door for the partition elements so as to be spreadable over the table.

so as to be spreadable over the table.

CONSTITUTION: Two partition elements 4 composed of a panel 40 and a storage cabinet 41 are connected together and laid in an L-like shape so as to from a partition wall 2. Further, a partition table 3 in laid being opposed to the storage cabinet 41, and being movable along a rail section 5 on the panel 40 by means of a support leg parts 30 having a caster. Further, a foldable door 6 for the storage cabinet 41 is arranged drawable over the table 3.



## 母公開特許公報(A) 平3-93946

©Int. Cl. 5 歳別記号 庁内整理 号 E 04 B 2/74 5 6 1 H 6951-2E A 47 B 5/06 8808-3B B 3/04 6578-3B E 04 B 2/74 5 6 1 M 6951-2E

❸公開 平成3年(1991)4月18日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

**⊗発**明の名称 システムパーテイション

②特 顧 平1-230188 ②出 顧 平1(1989)9月5日

の発明者 蜜 岡 青 静 の出願人 ヤマハ株式会社 静

静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式会社内

静岡県浜松市中沢町10番1号

四代 理 人 弁理士 秋元 輝雄

U 10 1

1. 発明の名称

システムパーティション

- 2. 特許望求の範囲
- (i) 2面の仕切り要素を略し字状に速放配配してなるパーティションウェール(2)と、

原面に移動可能に接する支数部を備え、かつ一 類が以足一方の仕切り要素に移動可能に支持され て、他方の仕切り要素に維接可能に配置された パーティションテーブル(3)と、を具備し、

解記パーティションテーブルと相対する他方の 仕切り要素は、パーティションテーブルを仕切る 折声を、このパーティションテーブル上へ裏関可 鍵にして設けていることを特徴とするシステム パーティション。

② 上記パーティションテーブルと相対する他方の 仕切り要素は収納組から抜けられ、上記折戸が終 記他方の仕切り要素内の収納スペースを開閉可能 にして思う数求項1記載のシステムパーティショ 3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本見明は、事務フロアなどを仕切って小区質の 事務スペースを構成するシステムパーティション に関するものである。

(従来の技術)

昨今の事務フロアにおいては、放散牧のパネル 部材を温投したパーティションウェールを利用し て並放されていた事務テーブルを区切り、個々の 事務スペースを独立させ、作業効率の向上などが 回られるようになってきている。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、上記したペーティションウェールを利用した従来の区間方法では、個々の事態スペースの広さがほぼ限定されたものとなった場合であっため、他の作業スペースが必要となった。してもの小人数での簡単な打合せに合った事態スペースの場では作品や打合せに合った事として会議を大学転用ができず、他のスペースそして会議

などを利用しなければならないという不悪 な点があった。

そこで本受明は、個々の事務スペースの区面が 行えるとともに、事務スペースの拡大が容易に行 えるようにすることを無層とし、事務フロアなど の空間の有効利用を図ることを目的とする。

#### 【禁忌を解決するための手段】

本発明は、上記した課題を考慮してなされたもので、2面の仕切り要素を略し字状に連設配配に 移動可能に接する文別感を備え、かつ一幅が であった であった であった であった であった であった であった があった があった があった があった があった であった があった であった であった であった では、 ペーティションテーブルを仕切る の がった マップル といる であった では、 パーティションテーブルを仕切る でした でいることを特徴とする システムペーティッコン を提供して、上記課題を解析し目的を達成するのである。

の仕切り要素4、4を略し字状に連結配配したもので、一方の仕切り要素はパネル40からなり、 他方の仕切り要素は内部を収納機とした収納キャビネット41から様成されている。

上記パーティションテーブル3は、収納キャビネット41からなる仕切り要素4に相対するように記載されている。そしてキャスターを介して床面に移動可能に接する支援部30を一端に確えるとともに、他端がパネル40からなる一方の仕切り要素4の幅方向に直って設けられたレール部5に移動可能に支持されている。すなわち前記パーティションテーブル3は、収納キャビネット41に接するように記載できるとともにパネル40に約って移動させることができる。

また上記収納キャビキット41は少なくとも パーティションテーブル3の高さで上下に2分割 されていて、上部側の収納機器分が折戸8によっ て製材可能に覆われている。そして資記折戸8は パーティションテーブル3上に引き出すように異 関することができ、この折戸8によってパーティ (4 8

本美明においては、パーティン・ンナーブル上に折戸を展開すると、このパーティン・ンチーブル上が打戸を展開すると、このパーティン・平石スペースが観点に形成され、また前記があってかっている。とにより、パーティン・はなされる。そしてパーティン・ンテーブルを関いて対面でより、たってパーティン・ンテーブルを関いては面面ではない。このパーティン・ンテーブルを関いて重か行える空間が拡がるようになる。

#### (実施例)

つぎに、本発明を第1回から第7回に示す実施例に基づいて詳細に説明する。

国中1はシステムパーティションで、盆システムパーティション1は、事務スペースのほぼ二方を囲むパーティションウェール2と、このパーティションウェール2に取り付けられたパーティションテーブル3とを備えたものである。

そして上記パーティションウェール2は、2面

ションテーブル3の雑部側が倒方のスペースに対 して仕切られるようになる。

この構造によってシステムパーティション1は、第1回に示すようにパーティションテーブル3を収納キャビキット41例に配置した状態で一人用の事務スペースとなり、上述したように折戸8を手前へ課酬して例方スペースとの区切りができるともに、収納キャビキット41を前面で開放できる(第2回参照)。

第3回に示すように、パーティションテーブル3 年パネル40に沿って移動させて収納キャンキャト41から離すと、人員の前方まスペースとファーブル3からなる作業スペースとし、背部を収納キャビネット41からなるスペースとした空間がこのシステムパーティンションは成成される。そして第4回に示すと立ては成成される。そして第4回に示すと立て、前記パーティションテーブル3を図にして小人性が対面状態で作業であっての実施例にあって

NŁ

ープ

蓄ス

切り

- 7

٥.

, ε

載な

变量

実施

ステ

ニカ

× -

+ 4

2 듒

スに対

. > 1

ーブル

3 T -

こ折芦

りがで

面で間

ーブル

++ 4

0 M -

ースと

収納ス

v . v

ナよう

を確立

ソテー

できる

あって

は、折戸を個方に重額可能としたが、ペーティ ションナーブルの中央側に引き出されるように重 難して仕切るものであってもよい。

ど、実用性にすぐれた効果を表するものである。 4. 国面の悪単な説明

第1回から第4回は本見明に係るシステムパー ティションの第1の実施例を示すもので、第1回 はパーティションテーブルを収納キャビネット側

ションテーブルの移動によって簡単に得られ、こ

のため個々の事務スペースの有効利用が固れ、独

いてはフロア全体の空間の有効利用が関れるない

でいて、パーティションテーブル3をパネル43 の中央で付き合わせるとともに、上記パーティ ション7個に記載された多様数テーブル8と合わ せて広いテーブルを構成し、全体として会議室と しての転用例を示す。

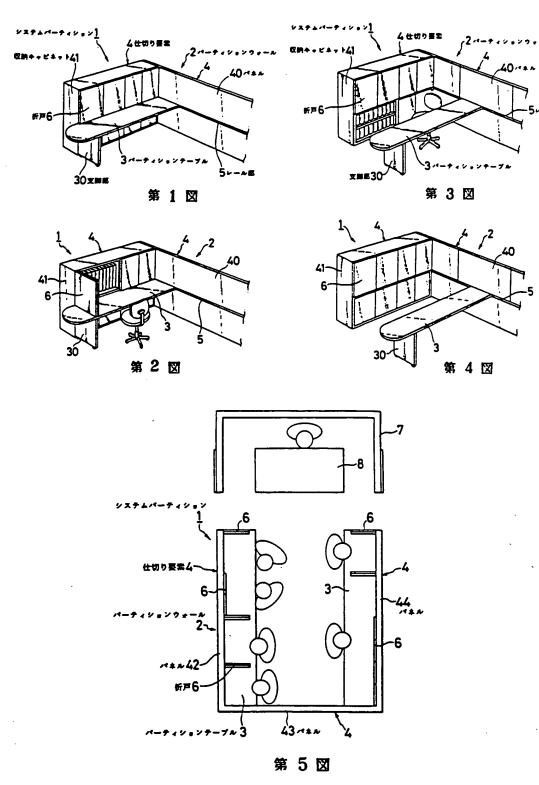
第7回は上記第5回、第8回面に示したとうシスティションクェール 2 を認面に示せとしたかりまール 2 を認面ですないとしたが行った。 平面では、第11年のののでは、第11年ののでは、第11年のでは、第

### (発明の効果)

以上説明したように、本発明のシステムパー ティションは、2面の仕切り要素を略し字状に選

に配置した状態を示す短期間、第2回は折戸を観 自例方との区域を配った状態を示す起映を引 のと第4回はベーティションナーブルを移動の た状態を示す起明回、第5回はベーティション た状態を示すもので、第5回はベーティション まつルを聴き示すをので、第5回はベーティション は他の用途への転用状態を示す起明回、第7回 は相対する仕切り要素を収納キャビネットと 例を示す説明回である。

1 --- レステムパーティション
2 --- パーティションウェール
3 --- パーティションテーブル
3 0 -- 文師部
4 --- 仕切り要素
4 0, 4 2, 4 3, 4 4 -- パキル
4 1, 4 5 -- 収納キャビネット
5 --- レール部
8 --- 折戸



-280-

